

消防分署の職員体制について

馬場議員

(1) 消防行政について

大村市宮小路分署の現在の職員体制は、1班4名の3交代で一分署12名体制であるが、最近の社会情勢の変化等で出動回数も年々増加している状況にあり、特に救急出動はその伸びが顕著である。現在救急出動には3名であたられてはいるが、その間に火災が発生すると火災出動には1名であたることとなり、消火活動が十分にできない状況が指摘されている。このよう

(2) 松原の医療施設について

永年、松原地区において開業されておられた医院が諸般の事情で廃業され、現在、地区内には医療施設がない状況である。住民はもとより高齢者の方々が地区内への医療施設の設置を強く要望されている。医院開設のための支援策がないか尋ねる。

な状態を改善するためには、署員体制を1班5名体制にするなどの施策が必要であると思うが当局の見解を問う。



宮小路分署

検討したい。

市長 (2) 松原地区の住民は

地域に病院がないということでは不便や不安を感じていると思う。同様な地区は他にもあるが、松原地区は他の地区と違い、比較的人口が密集していることから対応しなければならぬと考えている。すぐには結論を出せないが、医師会と協議しながら解決に向けて努力をしていきたい。

副市長 (1) 県央広域市町村

圏組合の副執行管理者をしており、今の状況は承知している。今の240名の人員体制で対応できるのか、増員が必要なのかを含めて早急に調査し、

公共工事の前倒し発注状況について

新幹線建設における

沿線住民への説明と対応について

村上議員

(1) 公共工事の発注状況について

長崎県は、上半期の公共工事の発注率83%を目標に取り組んでいるが、大村市の上半期の発注目標は何%なのか。また、前倒しすることによる下半期への影響があると考えられるが、対策はどのようなになされるのか。

(2) 新幹線建設における沿線住民への説明と対応について

新幹線西九州ルートの新設が決定したことは、

市長 (1) 上半期の契約率を

80%と定め、積極的に前倒し発注を行っているところである。下半期においては、国の補正予算が成立したこともあり、今後、臨時議会や9月議会において補正予算を考えたい。本市の緊急経済対策として、例年以上の公共工事を実施する見込みである。

市長 (2) 用地買収について

は、まず、鉄道・運輸機構において構造物調査設計がなされ、その中で関係機関との設計協議を経て必要な事業用地幅が決められる。その後、決まった地区から随時用地測量説明会が行われ、測量に入り、用地買収が行われる。具体的時期については、設計協議や用地測量の進み具合によるので定かではない。工



新幹線鈴田トンネル

期については、用地買収が完了した地域から随時説明会を行い、工事に着手されていく。これも時期については現時点ではつきりしていない。工事内容については、トンネルや高架橋などの構造物の工事が行われるが、工事期間中における沿線住民の日常生活の安全を守り、不安や心配が生じないようにご意見やご要望をお聞きしながら、市がパイプ役となって適切に対処していく。ご理解とご協力をお願いしたい。
(その他の質問事項)
・松原新漁港沖に消波ブロックの建設を
(仮称) 松原駅周辺整備工事について
・ロザモタ広場周辺に芝桜の植栽を